

## 海外研修での出会いに感謝

東北大学病院 初期研修医（1年目） 古積麻衣子

- ①海外の病院を見学し、
- ②英語でプレゼンテーションをして、
- ③現地の研修医と英語でコミュニケーションする。

わたしにとって、どれもこれも経験したことのないことばかり。海外研修の募集案内を知ったとき、未知の世界に飛び込む思いで、応募を決意しました。シンガポールでの研修期間のみならず、研修への参加が決まってから、研修を終え帰国するまでの間にかけてかけがえのない体験をすることができました。事前ミーティングでの英語での自己紹介に始まり、プレゼンテーションの準備・発表、現地研修医との交流、観光と充実した時間を過ごすことができました

Singapore General Hospital でのグループ研修では私の興味にあわせ、National Cancer Center も急遽案内していただきました。この Center は Singapore General Hospital 敷地内にある癌専門の施設で、外科・腫瘍内科・放射線部（CT・放射線治療）が各階に配置されています。同 Center では、外来化学療法の様子まで見学でき、シンガポールの実際の癌治療に触れることができました。日本と大きく変わらないシンガポールの医療水準の高さをうかがい知ることができました。

今回の海外研修で学んだことは、英語は便利なツールであり、英語を話せれば世界中の人ともっと簡単に情報交換ができるということです。私のリスニング力、英会話力が拙いばかりに、Singapore General Hospital でスタッフの方々が説明してくださった内容が十分理解できず、苦労しました。この苦い経験から、一生医療に携わる者として英語でのコミュニケーション能力を磨き、医療現場や学会で実用できるまでになりたいという思いを強くしました。この海外研修に向けて練習し始めた「英会話」を今後も続けていきたいと思います。

最後になりますが、私たち外国人の訪問に、快く各部門の説明をしてくださった Singapore General Hospital のスタッフのみなさん、多忙な診療の合間に応対してくださった Singapore Japan Green Clinic の亀井先生に本当に感謝しています。また、研修を中心となって進め多方面からサポートしてくださった引率の先生方、ともに参加した各大学病院の研修医のみなさん、大変お世話になりました。

この研修で出会ったみなさんとシンガポールで同じ時間を過ごし、かけがえのない貴重な経験をすることができました。この経験は私にとって一生ものの財産です。